

誤りです！高速道路のこんな認識・走り方 ～あなたは大丈夫ですか？～

心構え・緊急時の対応に関する誤った認識等

**1** 高速道路は一般道路の延長という軽い気持ちで走行している。

改善ポイント → 高速道路を自動車で行く際は、事前の準備（車両点検・情報収集）と適度の緊張感が必要です。電光掲示板の「事故・故障・落下物」等情報には、特に注意が必要です。

**2** 高速道路は人も自転車もないので安全だ。

改善ポイント → 故障車両の修理作業をしたり、交通事故の当事者が事故を起こしたことに動揺し降車して歩いたり、思わぬ行動に出ることがあります。原付・自転車の誤った立入りにも注意しましょう。

**3** 事故を起こしてしまった。当然、後続車の運転者は事故車両や自分に気付いて減速してくれるだろう。

改善ポイント → 全ての運転者が事故や歩行者に気付いているとは限りません。速やかに後続車への安全対策（停止表示器材の表示等）を施し、道路外の安全な場所に待避してください。

**4** 路肩が広いから、故障したら路肩で修理すれば良いし、路肩に止まって携帯電話をすれば安全だ。

改善ポイント → 高速道路の路肩は、駐停車して修理や電話をする場所ではありません。やむを得ない事情で路肩に停止していたところに後続車が突っ込んでくる事故が多発しています。

**5** 自分の車は故障なんてしないから停止表示器材を積んでいない。

改善ポイント → 停止表示器材は、後続車に停止車両があることを知らせるためのものです。故障や事故はいつ起こるか分かりません。停止せざるを得なくなった場合に備え、携帯しましょう。

走行方法に関する誤った認識等

**1** 追越車線を走行し続けても問題ない。

改善ポイント → 追越車線は追越しのための車線です。追越しが終わったら、速やかに走行車線に戻り（キープレフト）、安全な速度と車間距離を確認することが大切です。

**2** 前車のブレーキランプにあわせて、頻りにブレーキを踏んで速度を調整している。

改善ポイント → 車間距離が短いから前車のブレーキランプや速度変化に過剰反応するのです。車間距離を保ち、アクセル操作で速度を調整しましょう。過度のブレーキは事故や渋滞の原因になります。

**6** 一般道路を走行してきたが積荷は落下しなかった。高速道路でも落下することはないから大丈夫だ。

改善ポイント → 高速道路では、風圧や強風・振動で積荷が落下することが多いです。小さな落下物でも高速道路では重大事故の引き金となりますので、確実に落下防止の措置をとりましょう。

**7** 「ガソリンがちょっと少ない。」「車の調子が悪い。」「……まあ、何とかなるだろう。」

改善ポイント → 「高速道路での走行は燃費が良い」と言われますが、意外とガソリンを消費します。また、エンジン等にも負担がかかりますので、早めの給油と車両点検を心掛けましょう。

**8** 夜間、前方に異常を確認して停車しても、ハザードランプは誰かが点灯してくれるだろう。

改善ポイント → 進路に異常な状態を認めて停車するときは、後続車に注意を呼び掛けることが重要です。特に、夜間は、後続車に異常を知らせ、事故を防止するためにもハザードランプを点灯しましょう。